

2020年5月28日

## 本社組織の改正について

当社では、昨年度からスタートした「JR貨物グループ中期経営計画2023」の2年目として各種の取組みを推進していますが、より効率的な組織体制を構築するため、以下の組織改正を実施します。

### 1. 概要

#### (1) 「環境事業部」の「営業部」への統合

環境事業部は、産業廃棄物輸送などの静脈物流を扱う部署として、1997年に「環境事業推進室」として設置し、新たな分野であった静脈物流の全国展開を図り営業拡大の役割を果たしてきました。営業手法が確立され一定の成果を上げる体制が確立されたことから、営業部『環境事業室』として効率的な業務運営体制とします。

#### (2) 「コンテナ品質管理部」の『コンテナ部』への改称

コンテナ品質管理部は、私有コンテナの設計・承認に関わる業務、コンテナに起因する事故対応、及び危険品の取り扱い等を担う部署として、2006年に設置し、台帳管理や検修履歴のシステム化の実現、コンテナ品質向上キャンペーンの実施、危険品に関するマニュアル整備を行い、業務フローを確立しました。このたび、現在車両部が所管しているJRコンテナの開発・製造、メンテナンスなどに関わる業務をコンテナ品質管理部に集約し、コンテナに関する業務を同部で一元管理することで、効率的な業務運営体制を構築するとともに、名称を『コンテナ部』と改称します。

#### (3) 「電波管理部」の「戦略推進部」への統合

電波管理部は、電波法にかかわる事案対応の部署として、2017年に「電波管理室」として設置し、無線管理体制の整備に務めてきました。このたび、管理体制等も整備されたことから、戦略推進部『電波管理室』として効率的な業務運営体制とします。

#### (4) インフラ整備推進部「神奈川東部方面線担当室」の廃止

2019年11月の相鉄・JR直通線開業と横浜羽沢駅リニューアルオープンにより、同事業を担当していたインフラ整備推進部「神奈川東部方面線担当室」を廃止します。

#### (5) 「人事総務部」の『人事部』と『総務部』への改編等

人事総務部は、当時の総務部と人事部を統合して2013年に総務部として設置しましたが、その後新人事制度導入に向けたプロジェクトチーム（現在の人事戦略室）設置など所管業務、所属人員の拡大に伴い、このたび、機動的かつ適切な業務執行を確立するために、『人事部』と『総務部』に改編します。なお、広報室は『総務部』内の室として、人事戦略室は改組の上『人事部』内のグループとして設置します。

### 2. 組織図

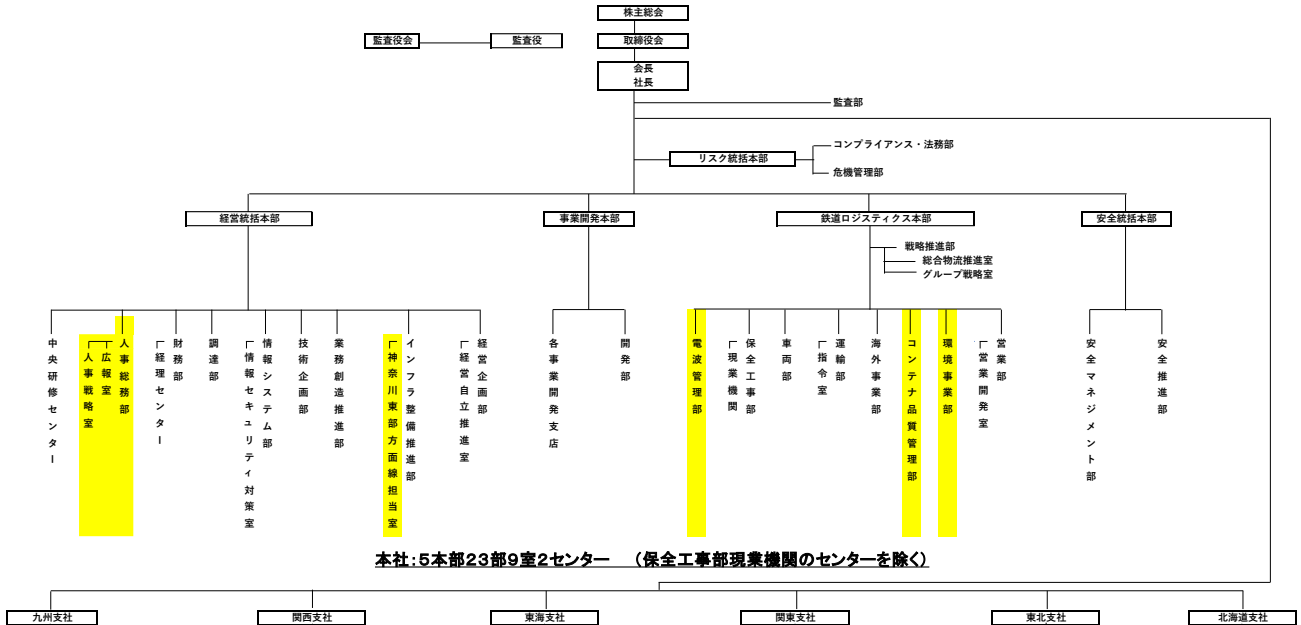
別添のとおりです。

### 3. 実施日

2020年6月19日（金）

日本貨物鉄道株式会社 組織図

組織図【2019.6】 現行



組織図【2020.6】 改正

